令和６年10月27日
執　　行
（選挙すべき議員数１人）

衆議院小選挙区選出議員選挙大分県第２区選挙公報

大分県選挙管理委員会
（掲載順序はくじによる）

大分からの挑戦／日本を建て直す！

日本の平和、自由、民主主義を守ります

激動する世界情勢の中、日本の対応努力と国際的な連携により、何としても守り、維持していかなければなりません。

安心できる社会保障制度の構築

給付と負担のバランスを確保し、特に若い世代にとって頼りになる制度を整え、子育て支援、高齢者に優しい社会、障がい者支援を広めます。

経済安全保障

エネルギーや食糧の安定供給、希少金属の確保も心配です。国内の供給力増強、輸入元の多角化を図り、暮らしと経済を守ります。また地球環境対策を進めると共に自然災害に備えて国土強靭化を進めます。

産業の振興

産業は国・地域の富の基礎。農林漁業・商工サービス業の発展、人材育成と投資促進、技術開発に力を入れ世界と渡り合える競争力を伸ばします。様々なアイデアを出し合い日本を再び強くしていかなければなりません。

政治への信頼を取り戻す！

政治は、内外の潮流を見極め、将来を想像し、歴史を踏まえた上で自分の考えをまとめて、国民に訴えること。その基盤となる最も大事なことは、地元の皆さんとの継続的な対話です。様々なご意見・ご指摘にもしっかり向き合って、皆さんと心を合わせて、活動していきたいと思います。

特色ある地域づくり

大分県には様々特色ある地域があり、意欲ある人材がおられます。皆さまと様々な知恵を出し合ってオンリーワンの地域づくりを進めます。

次の世代、そしてその次の世代に引き継いでいくために！

無所属
広瀬 建（ひろせ けん）

国を動かす 大分の力、充実！

国会の最前線で取り組んでいます。

自民党公認　公明党 推せん

自由民主党公認（大分2区）
衛藤 征士郎（えとう せいしろう）

経済・外交・防衛・地方のくらし
皆様とともに、大分の発言力・大分の実現力を積み上げてきました。

◎**戦争のない国、世界平和を守るために**
☆**憲法を改正して自衛隊および緊急事態条項を明記**
☆**日米地位協定の見直しが急務**
領土領海問題をはじめ不安定化する世界を見据え、国と世界の平和を守るために、安全保障法制の整備、自由と民主の価値観を共有する国々との連携強化が必要です。世界各国の議員と、積極的な議員外交を推し進めています。
☆**拉致被害者帰国** ―― 総理大臣みずからの訪朝の道筋を

◎**農林水産業の持続的発展**
☆**漁港・漁場・漁村整備推進議員連盟会長を務め、振興策の先頭に立っています。**
☆**農家を守るために、生産者米価への政府の関与・中山間地域所得直接支払い制度の拡充・飼料・肥料・農業資材価格の高騰対策を石破総理に要請しています。**

◎**成長型経済　賃金引き上げと投資がけん引する**
最低賃金引き上げには雇用主への財政支援・税制の改善が必要です。

◎**災害対応力強化 ―― 豪雨災害・南海トラフ地震 ――**
被災地の復旧復興　被災者救済　防災・減災事業　国土強靭化

◎**東九州高速道の四車線化、中九州道、日田中津道の整備促進**
（高速道路建設推進議員連盟会長）

◎**九州四国海底トンネルの実現で、大分を九州の表玄関に**
（九州四国海底トンネル建設推進議員連盟会長）

◎**海洋国家日本の海事振興**（海事振興議員連盟会長）

◎**誰も取り残されないデジタル社会**
デジタル化が急速に進む中、高齢化率3割の日本、あまりにも世代間格差が広がっています。高齢者の視線・立場に立った対応が必要です。

農村に育った少年時代「村の暮らしをよくしたい！」と政治家を志し、29才の町長就任から今日まで、政治一筋に進んで来ました。
今、国民の10％は戦争体験者ですが、国会の99％の議員は、戦争体験がありません。
戦時下と復興を肌身で体験した一人として、国会に立つ使命を重く受け止めています。

派閥による政治資金問題は、深刻な政治不信を招いています。私自身の関係団体につきましても、不適切な事務処理に至りましたことを、**深く反省し心よりお詫び申し上げます。**新政権のもと、政治資金の法制について、徹底した改正が必要です。**深い反省の上に立ち、地方に軸足を置き、世界の中の日本を見据えて、**皆さまとともに積み上げて来た政治力を活かして、国政に挑んで参ります。

昭和16年生まれ、**山奥の農家で育つ。10才、厳しい山村の暮らしの中で「政治家になって村のくらしを守る!」と決意。**高校は2年間休学し、炭焼きや椎茸栽培に励む。自活しながら早稲田大学で政治学を学ぶ。

- 早稲田大学政経学部卒
- 早稲田大学大学院修了
- 玖珠町長（当時全国最年少、29才）
- 参議院議員（36才）。衆議院議員（42才）以後13期連続当選

国会では
- **衆議院副議長**
- **国務大臣防衛庁長官**
- **外務副大臣**
- **農林水産政務次官・予算委員長・大蔵委員長・決算委員長** 他を歴任

現在、**憲法改正推進議員連盟会長**
海事振興議員連盟会長

漁港・漁場・漁村整備推進議員連盟会長、カナダ、スイス、オランダ等10数ヶ国の友好議員連盟会長はじめ、超党派の多数の議員連盟会長を務める

新しい時代へ はじめるのは、いま

比例代表は立憲民主党へ

吉川はじめが実現します

誰もが活躍、共生社会へ
- ■省エネ・再エネ促進でエネルギー源を確保し、原発に依存しない社会へ
- ■大規模災害の復旧・復興には国が責任を持ち、自治体の財政不安を解消
- ■ジェンダーギャップの解消、選択的夫婦別姓の法制化を推進
- ■裏金づくりの仕組み・使途・責任を追及し、企業・団体献金は禁止へ

子どもたちの未来のために
- ■対話と協力を柱に平和外交を展開し、アジア太平洋地域の緊張緩和へ
- ■防衛増税は撤回、必要最小限度の防衛の在り方を再検証
- ■県内の演習拡大に歯止め。大分分屯地の弾薬庫新設は、まず情報公開を
- ■憲法を変えることよりも、憲法を暮らしや政治に活かす

あたり前に暮らせる社会
- ■将来を担う子どもたちの育ちを社会全体で支えるため、予算を大幅増
- ■全国一律最賃1,500円の早期実現と非正規雇用の正規化促進を法制度化
- ■学校給食や教材費、大学授業料の無償化と教職員の長時間労働是正
- ■紙の保険証廃止をストップ！ 医療・介護・年金を安心できる制度へ

豊かな国づくりは地方から
- ■農業への戸別所得補償制度復活で食料自給率向上、若い世代の参入促進
- ■中小企業予算を拡充、中小企業の適切な価格転嫁を強力に推進
- ■大分県の観光資源の基盤強化に向け、人材育成・ブランド化を推進
- ■自治体職員・教職員を増やし、地方の公共サービスを充実

人を大切にする社会へ いま政治を変えるとき

自民党の政治パーティで裏金作りが発覚し、国民の信頼を大きく損ねました。
総理大臣が変わっても、政治とカネの問題にフタをする姿勢は何一つ、変わっていません。
私は、政治資金を透明化し、企業や団体からの献金禁止でおカネを媒介にした癒着政治を終わらせます。
昨年、新たに命を授かった子どもの数は過去最低の76万人。大分県も例外でなく、過去10年間で出生者数は3割も減っています。
若い世代が結婚や子育てを望んでいないわけではありません。「非正規だから」「教育費が高いから」と結婚、子育てを控えているのではないでしょうか。
この30年間、賃金は上がらず、大企業の利益や株価ばかりが大切にされ、肝心の働く人や生活者が粗末に扱われてきました。
いま、新しい時代に踏み出す時です。働く人、高齢者、男性・女性、そして障がいを持つ人など、誰もが安心して、能力を発揮できる社会に変えます。

WEBサイト

大分県第２区衆議院議員候補
立憲民主党公認・連合推薦

吉川 はじめ（よしかわ）
58歳